

かたがたの子

1月号

令和7年1月15日
全校児童数 76名**学期末評価「こどものすがた」が変わります！**

子供の成長を三者懇談で共有！

**子どもの自己評価と学校からの個人内評価を「こどものすがた」として配付
記号○○△で学校から一方的に通知するこれまでの通知表は廃止**

現在、全国の先進的な学校では、一人一人の成長は違うことを前提とし、学ぶ内容や方法を子供が選択できる学び「個別最適な学び」が拡大しつつあります。本校においても、算数を中心に学習者主体の学び「学び合い・自由進度学習」を展開し、一人一人に合った内容や方法を選択しながら自分のペースで学び進め、学習効果を飛躍的に高めています。

しかし、学期末に配布する「こどものすがた」は、一律の学習内容を記号（○○△）で評価し、学校から一方的に子供や家庭に通知してきました。また、学びの主体が教師主導から子供主導に変わりつつある時代を迎えているにもかかわらず、教師からの評価のみで子供自身が成長を実感していることが反映されにくい課題も解消されなままです。また、保護者にとっても、記号だけでは、子供がどのように成長しているか、具体的な変化や進歩が分かりにくいものではなかったでしょうか？

そこで、本年度後期より、これまでの通知表を廃止し、子どもの自己評価と学校からの個人内評価(人と比べず個人の成長を評価)を話題にする三者懇談をもって子供の成長を共有することとします。また、学期末には、子供の自己評価と学校からの個人内評価(参考資料としてテストの点数一覧を添付)を印刷し「こどものすがた」として配付します。



「子どもの自己評価」と「学校からの個人内評価」の効果

学期末の評価に、子供の自己評価と学校からの個人内評価を取り入れることで、以下の6つの効果に期待しています。

1. 自己認識の向上

子供が自分の学びや行動を振り返ることで、自己認識能力が高まります。どこが得意で、どこに課題があるのかを自ら理解することで、自発的な成長につながります。

2. 主体性の育成

自己評価を行うことで、子供が学びに対して責任を持つようになります。「自分の努力や結果を自分で評価する」という体験を通じて、主体的な行動や意思決定力が育ちます。

3. 比較からの解放

通常の評価（他者との比較）だけでは、競争意識が強まりすぎる場合があります。個人内評価は「自分自身の成長」に焦点を当てるため、他者との比較ではなく、自分の進歩に目を向けることができます。

4. 成長プロセスへの注目

個人内評価は、結果だけでなく努力や成長の過程も評価します。例えば、「前回よりも〇〇が上手になった」「以前よりも挑戦する姿勢が見られる」といった形で、子供の努力や変化を肯定できます。

5. 親と子供、学校のコミュニケーション促進

自己評価と個人内評価があることで、親と子供、学校が同じ基準で成長を話し合うきっかけができます。子供の自己認識と学校の視点を共有することで、家庭での支援方法や学校での取り組みを一致させやすくなります。

6. 内発的動機づけの強化

自分の成長を実感することは、学ぶ喜びややる気につながります。他者からの評価だけでなく、自分自身で「できるようになった」「成長した」と感じられることが、長期的なモチベーションを高めます。

なぜ、三者懇談が子供の成長に効果的か？

子供の成長を促すために三者懇談（親、教師、子供）が行われることには、次の7点より効果があると考えています。

1. 相互理解の促進

- ・親：学校での子供の様子や学業の進捗、友人関係について知ることができ、子供をよりよくサポートする方法を理解できます。
- ・教師：一人一人の成長の違いを肯定的に受け止め、学校での支援や環境設定を個別化できます。
- ・子供：自分の成長を肯定的に実感したり応援してくれる学校や家庭の存在を知ったりすることで、自分の成長が大切にされていることを実感でき、更なる成長への意欲を高めることができます。

2. 目標の共有と設定

三者懇談では、子供の短期的・長期的な目標を明確化し、親と教師がそれをサポートする体制を作ることができます。子供自身も目標に対して主体的に取り組む姿勢を持つきっかけになります。

3. 課題の早期発見と対策

子供が抱えている学習面や心理面での問題、学校生活でのトラブルなどを早期に共有し、解決策を立てることが可能になります。

4. 子供の自己肯定感の向上

親と教師が子供の成長や努力を認める場となることで、子供の自己肯定感が高まり、自信を持って次のステップに進むことができます。

5. 家庭と学校の連携強化

親と教師が協力して子供をサポートする体制を築くことで、子供が学校と家庭の両方で一貫した支援を受けやすくなります。

6. 子供の意見や感情を尊重

三者懇談は子供自身の意見を聞く場でもあり、自分の考えを表現する練習になります。これにより、子供が主体的に成長に関わる意識を育むことができます。

7. モチベーションの向上

親や教師が自分の頑張りを評価してくれる姿を見ることで、子供のやる気が向上します。また、具体的なフィードバックを得ることで次の努力への意欲が湧きます。



三者懇談は、子供の成長を多面的にサポートするための有効な手段であり、親、教師、子供が共に協力して目標に向かう環境を作る上で大切な役割を果たします。